

平成31年度大磯町教育委員会第1回定例会議事録

1. 日 時 平成31年4月19日（金）
開会時間 午前9時30分
閉会時間 午前10時07分
2. 場 所 大磯町保健センター2階 研修室
3. 出席者 野 島 健 二 教育長
トーリー 二葉 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
曾 田 成 則 委員
長 嶋 徹 委員
仲手川 孝 教育部長
佐 野 慎 治 町民福祉部長
佐 川 和 裕 参事（歴史・文化担当）
宮 代 千 秋 学校教育課長
山 口 信 彦 子育て支援課長
波多野 昭 雄 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
佐 藤 聡 生涯学習課図書館長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
添 田 真 喜 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 1名
6. 報告事項
報告事項第1号 大磯町立学校食物アレルギー対応マニュアルについて
報告事項第2号 平成31年度学級編制及び教職員の配置状況について
報告事項第3号 大磯町郷土資料館本館の臨時休館について
報告事項第4号 教育委員会関連事業の実施及び結果報告について

7. その他

（開 会）

教育長） それでは、ただいまから、平成31年度大磯町教育委員会第1回定例会を開催いたします。

本日の会議の内容ですが、報告事項4件でございます。

本日は5名全員出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

なお、本日は傍聴を希望される方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可いたします。

【平成30年度第12回定例会議事録の承認】

教育長) 「平成30年度第12回定例会議事録」は、1ページから17ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成30年度第12回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

【教育長報告】

教育長) それでは、3月定例会開催後の平成31年3月26日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

3月29日、平成30年度末辞令交付式を行いました。教職員10名、町職員1名に退職辞令を交付しました。4月1日、平成31年度辞令交付式を挙行し、新採用教員3名を含む19名の教職員、そして、町職員8名に辞令を交付いたしました。4月5日から8日にかけて、町立幼稚園・保育園、小・中学校、分校において、入園式・入学式が開催されました。教育委員の皆様には、辞令交付式及び入園・入学式にご出席いただき、大変ありがとうございました。

今年度の幼稚園、保育園の入園、小・中学校の入学状況等の詳細につきましては、後ほど事務局よりご報告いたします。4月18日、全国学力・学習状況調査が行われ、町立小学校の6年児童と中学校の3年生徒が、本年度は、小学校が国語、算数、そして、中学校が国語、数学、英語の問題に取り組みました。中学校英語「話すこと」調査では、生徒一人ひとりがPC端末を利用する音声録音方式での新たな調査でありましたが、滞りなく実施することができました。その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

次に、3月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事、その他のことについて、ご報告いたします。

まず、専決した事項に関する事について、規則改正が1件で、3月29日付けで告示を行っております。「大磯町教育委員会関係職員の職の設置等に関する規則の一部を改正する規則」についてです。こちらにつきましては、平成31年4月以降の人事異動において、専門的な分野を担当する職員として「担当課長」又は「担当係長」を配置できるよう所要の改正を行っており、

平成 31 年 4 月 1 日より、学校教育課教育総務係内に、新たに学校給食担当係長 1 名の配置を行いました。

また、大磯町立中学校給食の関係であります。平成 31 年 2 月 21 日に開催された平成 30 年度大磯町教育委員会第 11 回定例会では、「自校方式で進めていく。」ということが決定されましたが、町部局側においても、平成 31 年 3 月 28 日に開催された平成 30 年度第 12 回大磯町政策会議政策会議において、同様に「自校方式で進めていく。」ということが決定されました。

本日の報告は、以上でございます。

教育長) それでは議事に入ります。報告事項第 1 号「大磯町立学校食物アレルギー対応マニュアルについて」、事務局より報告をお願いいたします。

【報告事項第 1 号 大磯町立学校食物アレルギー対応マニュアルについて】

学校教育副課長) 「大磯町立学校食物アレルギー対応マニュアル」について、説明させていただきます。

学校生活における食物アレルギー対応は、食物アレルギーのある児童生徒の増加に伴い、重要な課題となっております。特に、こうした疾患には、長期にわたり管理を要する側面があるとともに、場合によっては生命にかかわるといふ側面もございます。

平成 27 年 3 月、文部科学省では、「学校給食における食物アレルギー対応指針」を発表いたしました。この指針には、学校給食における食物アレルギー対応の原則的な考え方として、最優先されるべきは、“安全性”であること、原因食物を「提供するかしないかの二者択一」を原則的な対応とすること等を示しております。

町でもここで、アレルギーを有する児童においても、給食時間を安全にかつ楽しんで過ごすことを目標として、国段階の方針を踏まえ、各小学校の安全対策を統一し、給食における食物アレルギー対応全体の安全性向上をめざす、「大磯町立学校食物アレルギー対応マニュアル」を策定いたしました。このマニュアルすべてを読むことはここではいたしません。特に大切なところ、1 ページ目をご覧ください。読み上げさせていただきます。

「大磯町立学校給食における食物アレルギー対応の原則」①原則、食物アレルギーを有する児童にも給食を提供する。そのためにも安全性を最優先する。②食物アレルギー対応委員会により組織的に行う。③「学校のアレルギー疾患に対する取組ガイドライン」に基づき、医師の診断による「学校生活管理指導表」の提出を必須とする。後ろの「様式」に綴じてございますので、あわせてご覧ください。④安全性確保のため、原因食物の完全除去対応（提供するかしないか）を原則とする。大磯町では、特定原因物質（7 品目）のうち、・卵・乳・エビは完全除去食対応 そば・落花生・カニは不使用 小麦は対応不可とする。⑤学校及び調理場の施設整備、人員を鑑み、無理な（過度に複雑な）対応は行わない。⑥教育委員会は食物アレルギー対応について一定の方針を示すとともに、各学校の取り組みを支援する。そして

今後の方向性についてですが、4ページから5ページにございますように、通知等で学校・保護者に向けた概要説明を周知すること、具体的には、平成31年度中より、学校内での準備、保護者へのスクリーニングと面談に向けた準備をしていくことを予定しております。説明は以上でございます。

質疑応答)

曾田委員) 大磯町では現在小学校、中学校どのくらいの申告があるかどうかは別として、保護者からの連絡等で把握されている数字はわかりますか。

学校教育副課長) ぴったりとした数字は難しいですが、10~20名程度各学校は対応しています。

曾田委員) それは小学校と中学校と比べるとどのくらい違いがありますか。

学校教育副課長) 今現在では中学校給食が実施されてないので、小学校の数字では、10~20人程度各学校でいます。以前中学校給食を実施したときは、小学生の時よりは身体ができてきて改善して数は少ないですが、対応が必要な生徒は数人いました。

曾田委員) 保護者、先生方、本人の申告などにより、これから対応していかなければならないですが、どのように出てくるのでしょうか。

学校教育副課長) P4から5を一緒にご覧いただきながら確認していただきたいのですが、保護者あての新生説明会が2月にごございますので、そこで周知をしまして、保護者から申し出があります。そこから面談を実施して、必要な書類を整えて4月に向けて準備していく流れになっています。

青山委員) このマニュアルは、小学校、中学校への対応とのことで、幼稚園、保育園で給食があります。そこについては、どのように対応していくのでしょうか。資料の最終ページの参考文献3番に、幼児生徒対応マニュアルとしている市町もあるようですが、大磯町についてはどうでしょうか。

子育て支援課長) 保育園では、アレルギー除去として4名の対応をしています。幼稚園は、お弁当で、給食ではないですが、保育園は基本的に学校と同じで保護者などから申し出があって、それによって、除去を把握して、それに基づき、除去食や親御さんの了解を得ながら、給食を提供している流れになっています。

青山委員) アレルギーの対応というのは、以前から小学校の給食でもやっていることや、症状が出た場合の対応についても、検証ということは、何年か前にも報告があったこともあり、学校がきちんと対応していることは理解しています。また、細かい文章ですが、P21 引き渡し時の注意の記載ですが、アに、「ワゴンには担任が運び」とあり、その下の行に、「学級担任等に渡します」とあり、両方に「担任」という記載がありますが、これは最初の担任は給食を作る担当者という意味でしょうか。担任が担任に渡すということはどのような状況でしょうか。わかりやすく説明してほしいと思います。

学校教育副課長) 表現がわかりにくかったと思います。両方とも実際は担任でやっております。といいますのは、ワゴンというのは、大人1人が運べる大きさのもので、食缶という、大きなスープの缶であったり、パンやごはんの入れ物を担任がそのワゴンで給食室まで取りに行き、給食室のスタッフから自分のクラスの児童の名前が貼ってあるその子だけが食べるお椀を直接受け取ります。

そして、担任はほか児童の給食とともにワゴンごと教室に持って帰ります。そして、直接該当する児童にお椀をわたす仕組みになっていますので、両方とも担任が行っています。

青山委員) P12 学校給食における留意点、(14)にこれと同じ内容が書かれています。

同じ内容と思いますが、読み比べてみると理解しにくいと感じます。少し整理していただくといいと思います。

学校教育副課長) 大事なところなので修正したいと思います。

【報告事項第2号 平成31年度学級編制及び教職員の配置状況について】

学校教育課長) 報告事項第2号、平成31年度学級編制及び教職員の配置状況についてご報告申し上げます。

資料の1ページをお開きください。平成31年4月5日現在の町立小・中学校の児童・生徒数、学級数になります。

はじめに、上段の表、小学校の普通学級の状況についてです。大磯小学校の児童数は879名で、前年度より9名の増、学級数は25で前年度比較での増減はありません。国府小学校の児童数は651名で、前年度比較15名の減、学級数は19で、前年度比較での増減はありません。国府小学校生沢分校は、本年度は6年生が2名で計2名、前年度比較での増減はありません。学級数は1で、前年度比較での増減はありません。昨年度は、5・6年生の複式学級で1クラスでありましたが、本年度は6年生のみの1クラスとなっております。

続いて、下段の左側の表、中学校の普通学級の状況についてです。大磯中学校の生徒数は403名で、前年度より3名の増、学級数は12で前年度比較での増減はありません。国府中学校の生徒数は334名、学級数は9で、それぞれ前年度比較での増減はありません。国府中学校生沢分校は、1年生、2年生がそれぞれ4名、3年生が6名で計14名、1・2年生の複式学級と3年生の1学級で、学級数のカウントは2となっています。

続いて、下段、右側の表、特別支援学級の状況についてです。大磯小学校は前年度と比較して4名の減、学級数は5で前年度比較での増減はありません。国府小学校は前年度と比較して4名の増、学級数は3で前年度より2クラスの増となっております。大磯中学校は前年度と比較して1名の減、学級数は2で前年度比較での増減はありません。国府中学校は前年度と比較して1名の減、学級数は2で前年度比較での増減はありません。生沢分校は前年度比較での増減はありません。

2ページの幼稚園については、子育て支援課長が説明いたします。

続いて、3ページをお開きください。平成31年度大磯町立小・中学校教職員配置状況でございます。

公立学校の教職員の配置につきましては、児童・生徒数に応じて学級数が決まり、その学級数に応じて規定の数の教職員が県教育委員会から配置されます。また、規定外として、例えば、ティーム・ティーチングや外国語専科など指導方法の工夫改善を進めるための教員等が各学校に数名配置されますので、これらを合わせた教職員数が表の数字となっております。

小学校全体では 83 名で、前年度と比べて 2 名の増、中学校全体では 64 名で、前年度と比べて 2 名の減となっています。

平成 31 年度学級編制及び教職員の配置状況の説明は以上です。
子育て支援課長) 引き続き、「平成 31 年度町立幼稚園・保育園 園児数及び教職員等の配置状況」について報告させていただきます。

まず、幼稚園ですが、大磯幼稚園の園児数は、平成 30 年度が 128 名、平成 31 年度が 111 名で 17 名の減となっております。クラス数は、年少・年中・年長、共に 2 クラスとなっておりますので合計で 6 クラスとなります。職員数は、園長 1 名、教頭 1 名、一般教諭 6 名で、すべて正規職員となっております。その他に園務整備員 1 名と教育支援員 7 名、預かり保育士 5 名となっています。教育支援員については、年少組の補助が 2 名、その他に支援が必要な園児への加配分として 5 名を配置しました。また昨年度よりスタートいたしました満 3 歳児保育の担当が 2 名、再任用職員と臨時職員で担当しますので、実質で 20 名の体制となっております。

次に、たかとり幼稚園の園児数は、平成 30 年度が 87 名で、平成 31 年度は、76 名で 11 名の減となります。クラス数は、年少と年長が 1 クラスで、年中クラスは 2 クラスとなりますので、合計 4 クラスとなります。職員数は、園長 1 名、こちらは国府保育園と兼務となります。教頭が 1 名、一般教諭が 4 名で、うち 1 名が臨任教諭となっております。その他に、園務整備員 1 名と教育支援員 4 名、預かり保育士 2 名となっております。教育支援員は、年少の補助が 2 名と、支援が必要な園児への加配分として 2 名を配置しています。また、満 3 歳児保育の担当は、こちらで 2 名で再任用職員と臨時職員で担当いたしますので、実質で 14 名の体制となります。

2 園の合計園児数は、平成 30 年度が、215 名で、平成 31 年度は 187 名ですので 28 名の減となっております。クラス数につきましては、たかとり幼稚園が 1 クラス減となっておりますので、全体で 10 クラスでの運営となります。

職員数は、園長が 2 名で、2 名ともに正規職員となります。次に教頭が 2 名、一般教諭が 10 名で、うち 1 名が臨任教諭となっております。その他に園務整備員が 2 名と、教育支援員が 11 名、預かり保育士が 7 名、昨年度からスタートした満 3 歳児保育担当が 4 名となっており、全部で 34 名、兼務 4 名になります。

教育支援員につきましては、子育て支援総合センターの巡回相談事業を担当している「子ども発達相談員」の臨床心理士と調整して、各園への割り振りを決めておりますので、その年の園児の状況により支援員の数が変更になっております。

次に保育園ですが、平成 30 年度が合計で 78 名、平成 31 年度が 87 名ですので 9 名の増となっております。また、クラス数は 0 歳児～5 歳児まで各 1 クラスの合計 6 クラスです。職員の体制は、園長がたかとり幼稚園と兼務で 1 名、園長補佐が 1 名、一般保育士が 26 名で、うち 20 名が臨時保育士で、うち 4 名が任期付職員として任用しております。次に給食調理員が 7 名で、そのうち 2 名が任期付職員の給食調理員です。その他に園務整備員が 3 名で、全体で 40 名の体制で平成 31 年度をスタートしております。

平成 31 年度の町立幼稚園・保育園 園児数及び教職員等の配置状況については、以上となります。

質疑応答) なし

【報告事項第3号 大磯町郷土資料館本館の臨時休館について】

生涯学習課郷土資料館長) 資料1ページをご覧ください。大磯町郷土資料館条例第5条第2項に基づき、大磯町郷土資料館本館の一般公開日を臨時に変更するものです。

臨時休館の理由といたしましては、大磯町郷土資料館本館所蔵資料の劣化を防ぎ、殺虫・殺卵・殺菌を目的として燻蒸作業を実施するため、平成31年7月3日から7月7日を臨時に一般公開しない日に変更するものです。2ページをご覧ください。燻蒸作業の概要についてご説明いたします。作業の目的といたしましては、収蔵資料の保存のため、燻蒸を行うものでございます。燻蒸物件としまして、郷土資料館本館1階の第1収蔵庫、地下の第2収蔵庫、特別収蔵庫、第3収蔵庫および、別棟の東蔵の計5箇所合計2千497平米を対象といたします。業務委託につきましては、入札において業務委託先を決定いたします。契約期間は契約締結の日から、平成31年9月までといたしますが、燻蒸作業は平成31年7月1日から7月8日までの間に行なうこととします。契約期間が9月までとなっておりますのは、燻蒸作業終了後に虫卵等の培養実験を行なう確認作業に1箇月ほど要するためでございます。燻蒸方法はガス注入による密閉燻蒸法により行ないます。7月1日と8日は月曜日、7月2日は館内整理日のため休館日でございますので、臨時休館につきましては、7月3日から7日までが対象となります。

なお、広報等においては、7月1日(月)から7月8日(月)までが燻蒸のため休館と周知する予定でございます。燻蒸に使用する薬剤に対する安全確保のため、郷土資料館敷地全域を、立入禁止区域といたします。3ページは大磯町郷土資料館条例の該当箇所の抜粋です。ご説明は以上です。

質疑応答) なし

【報告事項第4号 教育委員会関連事業の実施及び結果報告について】

参事(歴史・文化担当) 「明治150年関連事業」の実施結果についてご報告いたします。本年1月に開催された本定例会(平成30年度第10回定例会)におきましては、明治記念大磯邸園記念公開の結果を報告させていただきましたが、今回のご報告は、大磯町の関係各課および大磯町内団体が実施した事業を含めて、全体の集計がまとまりましたのでご報告をさせていただきます。

1ページをご覧ください。1ページ目は、表の左端の団体名にありますように、大磯町で実施しました事業の実績一覧です。内容としましては、生涯学習課主催のOISO学び塾、図書館主催の蔵書展・映画会・教養講座、郷土資料館主催の企画展と講演会、学校教育課主催の歴史講座、産業観光課が窓口となったテレビ収録などがございます。

ちなみに、下から3段目のテレビ番組については、大磯プリンスホテルのバンケットホールで満員の観覧者の中で収録が行われました。番組製作上、

明治 150 年記念に特化したプログラムにはなりませんでしたが、鑑定に出品されたお宝のなかには明治期のものも含まれていました。なお、番組は本年 1 月 8 日にオンエアされております。

2 ページをご覧ください。表の上から 6 段目になりますが、大磯町と神奈川県との協力のなかで旧吉田茂邸内の兜門、七賢堂、サンルームの国登録有形文化財への申請事業があります。これも明治 150 年記念の一環として位置付けて進めたもので、本年 3 月 29 日付で、無事に登録されました。

なお、2 ページから 3 ページにかけては、町内団体の実施した事業です。この中には、大磯町観光協会が主催した食事付のガイドツアーや観月会、大磯だいき俱樂部の講演会や新内・落語の特別公演など有料とした企画もありましたが、いずれも好評で定員を満たしております。また、大磯迎賓館で企画した明治 150 年記念オリジナルメニューも、たいへん好評であったと聞いております。結果としまして、この表の上での集計ではありますが、合計で 54 事業、参加者・観覧者は 65,877 人を数えておりますので、明治記念大磯邸園の公開とあわせて、町全体の盛り上がりに対しても貢献できたのではないかと考えております。報告は以上です。

生涯学習課長) 次に、3 月 24 日に開催しました「第 8 回チャレンジライブの実施結果」でございます。4 ページをご覧ください。本事業は大磯町青少年指導員連絡協議会の自主事業として開催しているものでございます。青少年指導員の助言のもと、参加者自らの手で自主的に企画運営をしてもらおうという方針で進め、3 回の企画会議を開催し当日を迎えております。また、昨年度に引き続き協賛を募り事業運営の一助にしようということで、町内の企業や店舗に協賛を呼びかけましたところ、最終的に 24 店舗の協力をいただくことができました。参加バンドは 9 組 34 人、来場者は 50 人で行いました。説明は以上でございます。

質疑応答) なし

(その他)

教育長) では、次回の会議について事務局から報告をお願いいたします。

事務局) 次回の教育委員会定例会は、5 月 16 日、木曜日、午前 9 時 30 分から、4 階第 1 会議室で開催予定です。午後は、生沢分校の訪問となります。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成 31 年度 大磯町教育委員会第 1 回定例会を閉会いたします。お忙しい中、お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

令和元年5月16日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____